

# 多摩市生物多様性ガイドライン

## 〈概要版〉

「もっと多摩の自然を楽しもう！」



### 1 生物多様性とは

一言でいうと 「多様な生態系や生き物が存在していること」。

### 3つのレベルの「多様性」

#### 遺伝子の多様性

同じ種でも、形や模様、行動などに多様な個性があること。



#### 種の多様性

地球上に、数百～数千万種もの様々な種が存在していること。



#### 生態系の多様性

森林、草原、河川など様々な生態系があること。



地球という大きな生態系の中では、すべての生き物が互いに影響しあっていて、**人間も多様な生き物が関わりあう生態系から得られる恵みで支えられているの。**そうした豊かな自然環境を守るために、どう行動すれば良いかをまとめたものが『生物多様性ガイドライン』よ！

詳しくは次のページからチェック！



多摩市環境部公式キャラクター  
エコアちゃん

## Q. どうして「ガイドライン」を策定したの？

### A. ガイドライン策定の背景



社会が変化する中で、開発などによる生態系の破壊など、生物多様性は危機に直面しており、世界中で「自然と共生する」世界を実現しようという気運が高まっています。

そうした社会情勢で、国レベルから各自治体レベルへと、取り組みが広がってきています。



### ガイドライン策定の目的

持続可能な社会を築くには、豊かな自然環境を守り、生き物と共生しながら自然の恵みを得ることが重要です。

その実現のためには、行政のみでなく、**市内で暮らす皆さん、市内で働く皆さんの協力**が必要です。

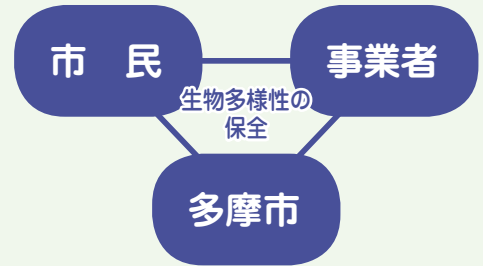
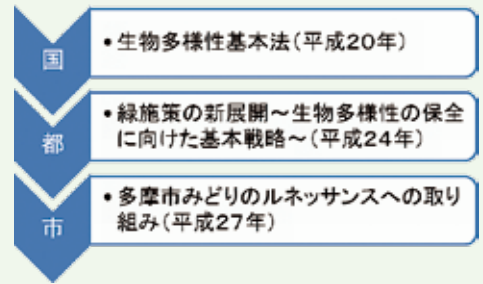
そこで、多摩市の取り組みについての基本的事項を定め、市民・市民団体の皆さん、事業者の方々、そして行政が知識を共有し、生物多様性に配慮し行動を進めるための羅針盤として『生物多様性ガイドライン』を策定しました。

**市民・事業者・行政が連携して、「生物多様性の保全」の実現を目指します！**



### 多摩市の生物多様性の現状

多摩市は面積の約6割が多摩ニュータウン区域となっております。市立公園の市民一人当たりの面積が多摩地域26市中1位であるほど「みどり豊かなまち」で、市内には「アカハライモリ」や「タマノカンアオイ」などの珍しい種をはじめ多種多様な生き物が生息しています。



市街地へ出没した野生のタヌキ



絶滅危惧Ⅱ類のタマノカンアオイ

「生物多様性」って大事そうだなってというのは分かったけれども、都市で暮らす人や働いている人とどう関係しているのかしら？羅針盤を作るなら市民の皆さんの意見も聞かないとね！



## Q. どうやって「ガイドライン」を策定したの？

### A. 市民ワークショップを開催して策定しました！

ガイドラインの素案は、一般公募の市民の方、各環境市民団体から推薦された方、市内の農業者・事業者・教育関係の皆さんでワークショップを5回開催して作成し、策定につなげました。

私たちが、ガイドラインの素案を作成しました！



## Q. 「生物多様性」って何が課題なの？

### A. ワークショップでの意見をまとめた3つの課題

#### 課題1 生物多様性についてみんなが知るにはどうしたらよいでしょうか

生物多様性の保全のためには、多くの人の支持と理解が必要ですが、「生物多様性」という言葉が一般の人にとって分かりにくいいため、その意味や重要性を分かりやすく伝えて、親しみを感じてもらい、楽しく学べるような工夫が重要となります。

また、自然体験の有無は、生き物に対する保全意識と関係しているため、イベントなどで生き物と楽しくふれあう機会を減らさないことも重要ではないでしょうか。



#### 課題2 生き物の生息地・希少種の保全はどのようにすればよいのでしょうか

生物多様性を保全するためには、私たちの周りにどのような生き物がいるのかを調べて把握し、理解しなければなりません。また、生き物を調べるだけでなく、その生息地のことも知り、守ることも大切です。生息地については、希少種だけでなく、ふつうの種の生き物が見られる環境を守っていくことが重要ではないでしょうか。

#### 課題3 外来生物にはどのように対応したらよいのでしょうか

外来生物とは、人間の手によって他の地域から持ち込まれた生き物のことで、在来の生き物の生態系や人間生活に悪影響を与えるものもあります。しかし、種によっては役立つものもあり、子どもたちに人気があって、私たちの身近な存在となっている種も多くあり、簡単に「善」・「悪」は決められません。外来生物の対策を考える場合は、その種が外来生物であっても、生態系や人間生活に大きなリスクが考えられるかという「リスクベース」で判断すべきではないでしょうか。

## なるほど！

「生物多様性」って普段あまりなじみがないと思っていたけれども、課題を整理すると、実は都市で暮らす私たちにとっても密接に関わっているのね。

そうしたら、課題への対策をとるために、考え方の整理をする必要があるわね！



## Q. 「生物多様性」を守るために、どう行動すれば良いの？

### POINT 多摩市の生物多様性に対する基本的な考え

大都市郊外での生物多様性の保全は、自然豊かな地方の都市や村などと大きくちがいます。

(1) 「都市での暮らし」を前提とします

理解を進めようにも一般的な生物多様性の保全についての考え方は、「〇〇をしないようにしましょう」などといった「規制」や「楽しくないこと」が多すぎる状況となっています。

(2) 「もっと自然を楽しもう」という視点を大事にします

都市には多くの外来生物がおり、リスクが小さい外来生物もいれば、逆に在来生物でもリスクが大きい種もいます。そのため、種によって「リスクベース」で対策を考え、様々な生き物たちとバランスよくつきあい、共存していくことが必要です。

(3) 「様々な生き物たちとの共存」を目指します

# A. 行動指針（ガイドライン）

3つの基本的な考えに基づき、市民・事業者・行政はそれぞれの立場で次の行動に取り組みましょう。

## 市民（市民団体）のみなさん

- ①生き物からの恵みを実感できるようにしましょう。
- ②自然環境の啓発イベントに参加しましょう。
- ③身のまわりの環境について関心を持ちましょう。
- ④地域の生態系に配慮しましょう。
- ⑤野生の動植物をむやみに獲らないようにしましょう。
- ⑥ペットの飼育に責任をもちましょう。



連携

## 事業者の方々

- ①生物多様性に配慮した事業活動に取り組みましょう。
- ②地域の生態系に配慮しましょう。
- ③ペットの飼育に責任をもちましょう。
- ④生物多様性の普及啓発に努めましょう。
- ⑤生き物に関する調査に協力しましょう。



## 多摩市（行政）

- ①市の事業活動にあたっては、生物多様性に配慮した活動に努めます。
- ②生物多様性の普及啓発に努めます。
- ③市民団体の活動を支援していきます。
- ④生き物に関する調査に取り組みます。
- ⑤関係部署等と連携した、生物多様性の保全に取り組みます。



連携

連携



## なるほど！

「もっと多摩の自然を楽しもう」というキャッチコピーには、生物多様性を「地域の自然を見直すきっかけ」にして、「生き物との関わり楽しさや身近さを感じてもらって、地域の人々とのまちづくりにつなげたい」というメッセージがこめられているのね！



## いかがでしたか？

生物多様性の保全には皆様のご理解とご協力が必要です！

ガイドラインは市公式ホームページで閲覧・ダウンロードできます。ぜひご覧ください。

多摩市 生物多様性ガイドライン

検索

